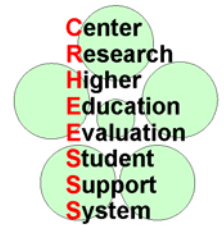


週刊センターニュース No.47



第47号(2005年2月9日)毎週月曜日発行
発行: 金沢大学 大学教育開発・支援センター
URL: http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm

共同学習会のお知らせ

第58回 日時: 2月10日(木) 16:20~17:50
場所: 角間キャンパス総合教育棟2階会議室
テーマ「日本人学生との共学を目指して - 留学生教育と日本の大学 -」(仮題)
担当: ルチラ・パリハワダナ(留学生センター)

第3回大学評価研究会の開催について

日時: 平成17年2月15日(火) 午後3時~午後5時
場所: 角間キャンパス総合教育棟5F D11演習室
テーマ: オーストラリアの大学評価システム
講師: Dorte Kristoffersen (Audit Director, Australian Universities Quality Agency / オーストラリア大学質保証機構 評価部長)

趣旨: 今回、来日中の Dr. Kristoffersen 氏を講師に迎え、オーストラリアにおける大学評価と大学の質保証について、御講演いただくこととしました。貴重な機会であり、特に各部局において評価を担当されておられる教職員の方々の参加を希望します。今回、講師をお願いする Dr. Kristoffersen 氏は、現在は、オーストラリア大学質保証機構の評価部長で、同時に INQAAHE(高等教育評価機関の国際的ネットワーク)においては、大学評価・学位授与機構の木村孟機構長などと並び理事会のメンバーでもあります。また、2004年まではデンマークの高等教育評価機関で研究を進められて来ておられるため、広く欧州、オーストラリア、その他諸外国の高等教育事情にも精通しておられます。 講演には通訳がつきます。

学内FD情報

文学部FD研究会「学生の心・学生の選択」の開催について
日時: 2月22日(火) 午後1時より 場所: 総合教育棟A101
1. 「金沢大学生」心の悩み 学生相談の事例から
鈴木 健一(金沢大学保健管理センター助教授)
2. 高校生・受験生からみた「金沢大学」
谷口 哲也(河合塾 大学事業本部・事業開発部)

第2回大学教育セミナーのお知らせ

このたび当センターでは、下記のごとく、第2回大学教育セミナーを開催することになりました。

昨年4月の法人化にあたって制定された本学の大学憲章は、「専門知識と課題探求能力、さらには国際感覚と倫理観を有する人間性豊かな人材を育成する」と謳っており、この理念の具体化のために、教育改革のための取組を継続的に行っております。

喫緊の課題の一つとしては、平成20年度より実施予定の現在の八学部を三学域へと統合する計画を前提とした新たなカリキュラムの検討があります。

そこで、今回のセミナーでは、全学FDの一環として、「学士課程教育の再構築について考える」をテーマとしました。山本冬彦(関西大学文学部教授)、副島雄児(九州大学高等教育総合開発研究

センター教授)および田中毎実(京都大学高等教育研究開発推進センター教授)の三人の講師によるご報告、さらにそれに基づくディスカッションを予定しております。文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム」(2003年度)に採択された九州大学の「21世紀プログラム」に象徴されるように、様々な大学における学士課程教育の見直しには注目すべきものがあります。

ご多用中とは存じますが、教職員の多数の参加をお願いします。なお、お手数ですが、各研究室のTAを中心とした院生および学生諸君にも広くお知らせいただければ幸いです。

第2回大学教育セミナー「学士課程教育の再構築について考える」

日時：平成17年3月1日(火) 13時～17時

会場：金沢大学角間キャンパス総合教育棟2階大会議室

主催：金沢大学大学教育開発・支援センター

開催趣旨

大学教育改革が叫ばれて久しいが、激しく変遷する社会システムにいかに対応するかについて、大学教育の模索は今も続いている。課程区分の廃止、大学院重点化、専門職大学院の設置を経て、問題の所在がより明確になってきた。すなわち、4年間の学士課程教育をいかに再構築するかである。本年1月末に出された中央教育審議会の答申「我が国の高等教育の将来像」においても、「教養教育」と「専門教育」の在り方を総合的に見直す必要性が述べられている。多様化、高度化を極める社会を生き抜く上で必要な教養とは何か、大学院教育の前提となる専門基礎とは何かについての深い議論が必要である。しかし、何よりも重要なのは主体的な学びを促す教育システムの設計である。主体的な科目履修を可能にする柔軟なカリキュラムや科目のグルーピング、学習への動機付けを促す授業形態など、様々な取り組みが現在全国の大学で検討されている。本セミナーは、金沢大学が平成20年度に向けた3学域への統合を進める今、学士課程教育をいかに再構築すべきかを議論する場として企画するものである。

セミナー申し込み

セミナー参加の事前登録は必要ありません。セミナー終了後に角間キャンパス南福利施設にて情報交換会を行います。会費は3000円です。情報交換会に参加を希望される方は、2月22日(火)までに、下記担当者までメールにてお申し込みください。

プログラム

- 13:00-13:10 開会挨拶 鹿野勝彦(金沢大学教育担当理事)
- 13:10-14:00 第1報告「関西大学文学部改革と教育の課題」
山本冬彦(関西大学文学部教授)
- 14:00-14:50 第2報告「九州大学21世紀プログラムで育ったもの
- 卒業生の輩出を迎えて -」
副島雄児(九州大学高等教育総合開発研究センター教授)
- 14:50-15:00 (休憩)
- 15:00-15:50 第3報告「学生の主体的学びを促す教育システム」
田中毎実(京都大学高等教育研究開発推進センター教授)
- 15:55-16:55 ディスカッション「学士課程教育の再構築について考える」
- 16:55-17:00 閉会挨拶 青野透(金沢大学大学教育開発・支援センター長)
- 17:15-19:00 情報交換会

セミナー問い合わせ、情報交換会申し込み

西山宣昭(大学教育開発・支援センター) e-mail: nnishiya@ge.kanazawa-u.ac.jp